



## ジェリクル株式会社

### 会社説明

ジェリクル株式会社は、東京大学大学院工学系研究科の酒井崇匡教授らが発明した、世界最高水準のハイドロゲル技術「Tetra-PEGゲル(テトラゲル)」の社会実装を目的に設立されたバイオベンチャーです。

従来のハイドロゲルは、構造が不均一で物性の制御が困難という課題を抱えていましたが、同社のテトラゲルは、均一な網目構造を持つことで、固まる速さ、硬さ、体内での分解期間、膨潤率といったあらゆる物理的・化学的性質を精密かつ数学的に設計・コントロールすることが可能です。この「ゲルの精密制御」という世界屈指の技術力こそが、同社の最大の強みです。

同社が掲げるビジョンは「Gel Medicine(ゲル・メディスン)」の確立です。生体に近い組成を持ち、注射で患部に注入できるというゲルの特性を最大限に活かし、低侵襲で高度な治療の実現を目指しています。現在、止血剤や癒着防止材、眼科手術補助剤といった医療機器のほか、神経再生を促す革新的な再生医療材料、薬物放出を制御するDDS(ドラッグデリバリーシステム)など、多岐にわたるプロジェクトを同時並行で進めています。

ビジネスモデルにおいては、一般的なバイオベンチャーとは一線を画す「プラットフォーム型アライアンスモデル」を採用しています。一つの新薬開発に社運をかけるハイリスクな形態ではなく、自社の基盤技術(テトラゲル)をプラットフォームとして提供し、大手製薬企業や医療機器メーカー、化学メーカーと共同開発を行うことで、着実かつ迅速な事業成長を実現しています。実際に、丸石製薬やアース製薬、三洋化成工業、森永製菓など、多様な業界のトッププレイヤーと提携を結んでおり、その応用範囲は医療の枠を超え、農業用の保水材や工業用の新素材、食品の食感改良などにも広がっています。

また、同社はベンチャーキャピタル等からの外部資金調達に依存せず、公的助成金や企業との共同開発資金を主軸とした「堅実経営」を貫いている点でも注目を集めています。2021年の「ICCサミットリアルテック・カタバルト」での優勝をはじめ、J-Startupへの選定、世界的なアクセラレーターであるBerkeley SkyDeckへの採択など、国内外で極めて高い評価を得ています。「ゲルですべての病気を治す」という壮大な目標に向け、少数精鋭のプロフェッショナル集団として、世界の医療と産業にパラダイムシフトを起こそうとしています。

### 会社概要

#### 本社所在地

日本

#### 事業内容

東京大学発の革新的ハイドロゲル技術「Tetra-PEGゲル(テトラゲル)」を用いた医療機器・医薬品(Gel Medicine)、および工業・農業用製品の研究開発・製造・販売。

#### 代表取締役

増井 公祐

#### 設立年

2018年8月1日

#### 資本金

非公開(※外部資本に頼らず、共同開発支援金や助成金等で運営する独自の経営スタイルが特徴です)

#### 従業員数

1 - 10人

#### URL

<https://gellycle.com/>

### オフィス情報

#### メインオフィス

〒1130033  
東京都 文京区 本郷3-38-10  
さかえビル2F